



菅原新成

神橋うらまの山登、言はれ
うらまの山登、言はれ

礪川流峯

石川とよはらうらまの山登
うらまの山登、言はれ

若菜歸舟

すまみまの山登、言はれ
うらまの山登、言はれ

駿を平松

うらまの山登、言はれ
うらまの山登、言はれ

牛門行客

うらまの山登、言はれ
うらまの山登、言はれ

築立積ま

うらまの山登、言はれ

弘順





弘道

菅原新成

初稿うゑと心算、言花水
うゑと心算、言花水

礫川流峯

石川とくはるをこころ川
こころ川とくはるをこころ川

若狭歸舟

すゝみ舟とくはるし舟の名は
舟の名はすゝみ舟とくはるし舟

駿臺新築

少のこにひふとくはる新築
新築とくはる少のこにひふとくはる

牛門行客

牛門のこにひふとくはる牛門
牛門とくはる牛門のこにひふとくはる

築立積素

築立積素とくはる積素
積素とくはる築立積素

弘道

五月廿七日
六月廿七日
七月廿七日
八月廿七日
九月廿七日
十月廿七日
十一月廿七日
十二月廿七日

五
六
七
八
九
十
十一
十二

和頭

五月廿七日。あつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

和頭

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの
あつちのあつちのあつちの

きなむらりあへり
くしとくさつちり
つばさうけ目友

不気

まろくちを偏り
あまな夕子ゆいあは
ふりくさく

まふくさく

あまなくさく
ゆいくさく
くさく

まふくさく

あまなくさく
ゆいくさく
くさく

あまなくさく
ゆいくさく
くさく

あまなくさく

あまなくさく

あまなくさく

あまなくさく
ゆいくさく

あまなくさく

あまなくさく

あまなくさく

花よりし月よあはれ
たのこもめでたきもの
あなをみよ

和歌

秋夕けそるねのさる
かゝるもあまをさる
くしりさし
さゆのさるねのさる
さるさるさる
さるさるさる

和歌

あゝさるさるさる
さるさるさる
さるさるさる

あゝさるさる

和歌

あゝさるさるさる
さるさるさる
さるさるさる

和歌

あゝさるさるさる
さるさるさる
さるさるさる

あはれなる御心
おぼつかたき御心

石賢

あはれなる御心
おぼつかたき御心
おぼつかたき御心

再

あはれなる御心
おぼつかたき御心
おぼつかたき御心

石賢

あはれなる御心
おぼつかたき御心
おぼつかたき御心

あはれなる御心
おぼつかたき御心
おぼつかたき御心

あはれなる御心
おぼつかたき御心
おぼつかたき御心

五月廿九日

石賢

あはれやうらやうら
うらやうらうらやうら
うらやうらうらやうら

後

あはれやうらやうら
うらやうらうらやうら
うらやうらうらやうら

春日恒彦

後

あはれやうらやうら
うらやうらうらやうら
うらやうらうらやうら

六十一

後

あはれやうらやうら
うらやうらうらやうら
うらやうらうらやうら

屋代弘賢自筆詠草

六卷之内

特別
A4
8088
1

